

企業スポット

キャセイ・

トライテック(株)

IoTソリューションプロバイダーに変身

【TDB企業コード：201494822】

キャセイ・トライテック(株)は、IoT(Internet of Things)の無線アクセスデバイスからプラットフォームサーバーまで、IoTトータルソリューションをワンストップで提供するプロバイダーに変身を遂げた。

■ワイヤレスモジュール最大手と提携■

1993年の設立以来、長らく携帯電話などモバイル通信のソフトウェアの受託開発を手がけていたが、2010年に入ってから、国産携帯電話メーカーの国際競争力の低下を目の当たりにした中原隆志代表は、あらゆるモノがインターネットに接続するIoTの時代が到来し、多様なセンサーやデバイスを活用したネットワークの活用が広がると考え、構造転換を決意。以降2016年まで全社を挙げてIoT関連デバイスの開発に取り組んだ結果、今やデバイスからサーバー、ビジネスソリューションまでの国内では数少ないIoTソリューションプロバイダーに変身している。

業績躍進の理由のひとつにSIMCOM Wireless社(シムコム社、中国・上海)と提携したことが挙げられる。3G/LTE移動通信モジュールで世界NO.1のシェアを握るシムコム社と組むことで、日本市場での競争力が向上し、認知が加速度的に進んだ。シムコム社からすれば、日本独自のキャリア総合接続試験やフィールドテスト、カスタマイズ要求やネットワークを熟知している当社から、様々な角度で確かな技術サポートを受けたことで、日本市場参入に成功したと言っても過言ではなく、両社は対等なパートナーシップ関係にある。

■デバイスからサーバーまで自社製品■

シムコム社の通信モジュールを組み込んだゲートウェイやルーターなど、移動通信ネットワーク機器は当社が単独で開発し、自社ブランド



工学博士でもある中原隆志代表取締役CEO

で販売している。また、総合重工業大手と共同開発した特定小電力無線を使ったセンサーネットワークも、自社製品としてラインアップされている。これらIoTの川上となるデバイスや通信端末は、有力電子部品商社など国内販売代理店10社を通じて、これまでに100社以上の企業に採用されている。また、IoTで蓄積されたビッグデータを管理する自社開発のプラットフォームサーバーも、複数社の大手企業がプライベートクラウドサーバーとして導入している。

■オンデマンドのデバイス、サービスを開発■

現在、中原代表が力を注いで取り組んでいるのは、「デバイスからサーバーまでの汎用品だけでなく、これまでに培った製品開発能力、技術力をベースに個々のお客様の要望に応じた、IoTの新しいサービスや新しいデバイスの開発。例えばスマートパーキングとかUBI(USAGE BASED INSURANCE)車載デバイスの分野等」だ。

携帯電話のソフトウェア受託開発会社から数少ないIoTソリューションプロバイダーに。過渡期には構造改革費用と開発先行投資で、赤字決算という痛みを伴ったが、中原代表の先を見る目は正しかった。やはり企業も「変化するものが生き残る」ようだ。



キャセイ・トライテック株式会社

本社 横浜市港北区新横浜3-24-5

新横浜ユニオンビル ANNEX 7F

代表者 中原 隆志氏

電話番号 045-476-5170

資本金 1億2500万円

設立 1993年(平成5年)9月

営業種目 IoT関連機器、移動通信機器の開発・販売